

## 令和6年度 シラバス

教科	国語	科目	国語表現	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	2	教科書	国語表現(大修館)		
副教材等	国語表現 基礎演習ノート(大修館)				

学習の目標	<p>1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしましょう。</p> <p>2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしましょう。</p> <p>3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養いましょう。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報を収集し活用しながら他者との対話を通して、深い理解を目指します。</li> <li>・教材の解釈や報告、発表などの言語活動を積極的に行うことを通して、自己の思いや考えを深めたり広げたりします。</li> <li>・言葉を通して他者や社会に関わり、読書に親しむことで自己の向上を目指します。</li> </ul>

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書いて伝える</li> <li>・小論文</li> <li>・自己PRと面接</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時と場合に応じた言葉と表記を使い分ける活動を通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。</li> <li>・小論文を書く活動を通して、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにします。</li> <li>・効果的な自己PRを考え、面接練習を通して、実社会における他者との関わりの中で伝え合う力を高めます。</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声とコミュニケーション</li> <li>・メディアを駆使する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット社会におけるコミュニケーションツールを使いこなし、コミュニケーションを豊かにします。</li> <li>・様々なメディアと情報に触れ、活用方法を考える活動を通して、論理的に考える力や深く共感する力を伸ばします。</li> <li>・朗読劇を通して、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養います。</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現を楽しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションやスピーチなどを通して、全体の構造を意識して説明するとともに間の大切さを学びます。</li> <li>・パンフレット作りやエッセイの創作を通して、必要な国語の知識や技能を身に付けます。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の2領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価	定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価	課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 令和6年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理総合	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	2	教科書	高等学校 新地理総合(帝国書院)・新詳高等地図(帝国書院)		
副教材等	地理総合ワークブック2024(愛媛県高教研地理歴史・公民部会地理部門)、高等学校 新地理総合ノート(帝国書院)				

学習の目標	社会事象の地理的な見方・考え方を身に付け、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付けます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を基本教材としつつ、資料豊富な副教材も活用しながら学習内容の定着を図ります。</li> <li>・地図帳や作業地図などを活用して、自然環境、産業、人々の生活・文化、地球的課題などの特徴や分布状況を空間的な広がりの中で捉えていきましょう。</li> </ul>

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	第1部 第1章 地図と地理情報システム 第2章 グローバル化する世界  第2部 第1章 生活文化の多様性と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある様々な地図、GISやGPSの仕組み、情報を地図化する方法を学習します。</li> <li>・世界の国々が貿易、交通、観光などによってどのように結び付いているかを学習します。</li> <li>・人々の生活と地形、気候、宗教等の関連性を理解し、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性について学習します。</li> </ul>
2 学期	第1章 生活文化の多様性と国際理解(2) 第2章 地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人々の生活と地形、気候、宗教等の関連性を理解し、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性について学習します。</li> <li>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題等を基に、地球的課題の解決について考えます。</li> </ul>
3 学期	第3部 持続可能な地域づくり 第1章 自然環境と防災 第2章 地域調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境の特色と自然災害の関連性を理解し、地域社会で起こりうる自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察します。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	地理に関わる事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めている。
評価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・レポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題、レポート</li> <li>・発表</li> <li>・パフォーマンス評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・ノート</li> <li>・ポートフォリオ評価</li> </ul>

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 令和6年度 シラバス

教科	数学	科目	数学探究A	学年 学科 類型	3年 商業科 I 型
単位数	2	教科書	数学探究A (学校作成教科書)		
副教材等	数学就職問題集 (愛媛県高等学校教育研究会数学部会)				

学習の目標	数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解し、数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学を活用していく能力を身に付けます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに習った内容を復習し、基礎・基本的事項を定着させてください。</li> <li>・就職試験に向けて過去問題を解き、より実践的な学習を行ってください。</li> </ul>

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	<p>【1学期中間】</p> 第1章 比と歩合 第2章 数と式の計算  <p>【1学期期末】</p> 第2章 数と式の計算 第3章 1次方程式と1次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・割合、仕事量、価格計算、食塩水の濃度などの問題について学習します。</li> <li>・基本的な四則演算から応用力が必要な文章題まで学習します。</li> <li>・1次方程式を解く問題を中心に学習します。</li> </ul>
2 学期	<p>【2学期中間】</p> 第4章 図形 第5章 その他SPI頻出問題 第6章 2次方程式と2次関数  <p>【2学期期末】</p> 第7章 不等式 第8章 三角比 第11章 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形、数的推理問題に関する内容を復習し、問題を解きます。</li> <li>・2次関数のグラフや方程式を立てて解く問題について学習します。</li> <li>・不等式を解き、最適な解を導く問題について学習します。</li> <li>・三角比について復習し、図形に関する問題を学習します。</li> <li>・場合の数と確率について復習し、身の回りにある問題を学習します。</li> </ul>
3 学期	第13章 総合問題  家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学習した知識を活用して、総合的な問題に挑戦します。</li> <li>・自主的・自発的な演習問題を行います。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したり、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察したり、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したりしている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の糧を振り返って考察を深めたり、評価・改善している。
評価 方 法	定期考査、単元テスト、課題プリント、ノート	定期考査、単元テスト、課題プリント、ノート	定期考査、単元テスト、課題プリント、ノート

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 令和6年度 シラバス

教科	理 数	科目	体 育	学年 学科 類型	3年 商業科
単位数	3	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	<p>1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができますようにします。</p> <p>2 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、健康・安全・運動についての課題を主体的に解決する意欲や能力を育てます。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。</li> <li>・体育理論では、豊かなスポーツライフの設計の仕方について学びます。</li> </ul>

学 期	単 元	学習活動とねらい
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>・選択1 (球技【ソフトボール・バレーボール・テニス・バドミントン】・武道)</li> <li>・体育理論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしの運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することを学びます。</li> <li>・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。</li> <li>・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。</li> <li>・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解します。</li> <li>・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを目指します。</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>・ダンス</li> <li>・選択1 (球技【ソフトボール・バレーボール・テニス・バドミントン】・武道)</li> <li>・体育理論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。</li> <li>・宇和島東高校で受け継がれている動きを表現します。テーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で対極の動きや空間の使い方を変化をつけて即興的に表現することで、イメージを具現化した作品にします。</li> <li>・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。</li> <li>・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。</li> <li>・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを目指します。</li> <li>・豊かなスポーツライフの設計の仕方について学習を主体的に取り組むようにします。</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択1 (球技【ソフトボール・バレーボール・テニス・バドミントン】・武道)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。</li> <li>・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。</p>	<p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。</p>
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パフォーマンス評価</li> <li>・小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題レポート</li> <li>・小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・行動の観察</li> </ul>

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 令和6年度 シラバス

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	2	教科書	MOUSA2(教育芸術社)		
副教材等					

学習の目標	1 音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組みます。 2 音楽のよさや美しさを理解し、自己のイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして個性豊かに表現します。 3 多様な音楽に対する視野や理解を深め、主体的に鑑賞します。
学習の方法	・歌唱では、音楽Ⅰより難易度の高い歌曲を歌います。授業での楽曲や演奏方法に関する説明をよく聞き、理解して演奏してください。 ・器楽では、コード進行を学習しながら創作活動にも生かせる旋律と伴奏の演奏を練習します。器楽で学習した鍵盤楽器を使ってテーマに合う作曲ができるよう、日常生活の中にある様々な音楽に興味を持ってください。

学期	単元	学習活動とねらい
1 学期	1 歌唱 ポピュラー・ソング 日本歌曲 イタリア歌曲 2 器楽 鍵盤楽器 3 鑑賞 ミュージカル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の背景や歌詞の内容を理解し、イメージを持って歌います。</li> <li>・外国語歌曲の発音を学びながら諸外国の文化を理解し、表現を工夫して歌います。</li> <li>・楽器の奏法を理解し、演奏します。</li> <li>・楽器の音色や奏法の特色を生かし、表現を工夫して演奏します。</li> <li>・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を感じ取りながら鑑賞します。</li> <li>・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者の特徴を理解して鑑賞します。</li> </ul>
2 学期	1 器楽 ギター 2 創作 音階から音楽を作ろう 3 鑑賞 アマデウス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の奏法を理解し、演奏します。</li> <li>・楽器の音色や奏法の特色を生かし、表現を工夫して演奏します。</li> <li>・創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら個性豊かに創作表現を創意工夫しますことを身につけます。</li> <li>・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を感じ取りながら鑑賞します。</li> <li>・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者の特徴を理解して鑑賞します。</li> </ul>
3 学期	1 合唱 式歌 卒業の歌 2 鑑賞 ベートーヴェン 西洋音楽史・楽典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の背景や歌詞の内容を理解し、イメージを持って歌います。</li> <li>・外国語歌曲の発音を学びながら諸外国の文化を理解し、表現を工夫して歌います。</li> <li>・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を感じ取りながら鑑賞します。</li> <li>・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者の特徴を理解して鑑賞します。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
評価 方 法	・行動の観察 ・実技テスト ・小テスト ・ワークシート	・行動の観察 ・実技テスト ・小テスト ・ワークシート	・行動の観察 ・出席状況 ・実技テスト

(備考) 1 ギターについては選択者全員で使用します。丁寧に扱い、授業後は整理整頓に努めてください。

## 令和6年度 シラバス

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科Ⅰ型
単位数	2	教科書	美術2(光村図書)		
副教材等					

学習の目標	1 1年次の学習内容に継続し、表現力や想像力をさらに伸ばします。 2 これまでの知識、技術及び経験を基に、主体的で個性的な表現を追求します。 3 鑑賞活動を通して、他者の考えを尊重し、自分の考えを適切に表現します。
学習の方法	・すべての表現活動において、主にアクリル絵の具を使用します。 ・絵画、デザイン、立体造形、鑑賞、それぞれの学習項目の中に、美術を学習する上で大切な基礎となる内容が入ってきます。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	1 住まいをデザインする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築家 隈研吾の作品を鑑賞し、建築への考え方やデザインの工夫を学びます。</li> <li>・透視図法を学習し、自分が理想とする部屋を設計し、形になる面白さを味わいます。</li> <li>・アニメーションの仕組みを理解し、6面で展開するノマキューブにアニメーションを制作します。</li> <li>・方眼工作用紙で立方体を作り、組み立てることでノマキューブの構造を理解します。</li> </ul>
	2 アニメーションの歴史	
2 学期	3 風景を撮影する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本美術や日本の伝統文化についての理解を深めるとともに、日本独特の絵画様式について学びます。</li> <li>・自分が好きな風景を撮影し、金屏風の中に構成します。</li> <li>・日本画の特徴を踏まえながら着色します。</li> </ul>
	4 抽象への誘い	
3 学期		<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽象絵画とそれらを描いた作家について知り、作品に込められた意図や工夫を感じ取ります。</li> <li>・偶然できた色や形から着想する描画法など、具象作品とは異なる表現方法で作品を制作します。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けている。
評価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・実技</li> <li>・作品</li> <li>・小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・実技</li> <li>・作品</li> <li>・レポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・出席状況</li> <li>・制作状況</li> <li>・作品の提出</li> </ul>

(備考) 美術室の道具類は、美術選択者全員で使用します。丁寧に扱い、授業後は整理整頓に心掛けましょう。

## 令和6年度 シラバス

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	学年 学科 類型	3年商業科Ⅰ型
単位数	2	教科書	書道Ⅱ(東京書籍)		
副教材等					

学習の目標	1 様々な書体を勉強し、古典の美に触れ、感性を磨きます。 2 古典を臨書し、様々な書体を書くための技術を身に付けます。 3 日常生活に即した、整った字の書き方を学びます。
学習の方法	・古典の臨書を通して、観察力や技術を学び、集中力を養います。 ・書の歴史を学び、作品への理解を深めます。 ・古典で学習した内容を、創作活動に活用します。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	1 楷書  2 行書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次で学習したことを復習します。</li> <li>・日本で独自に発展した書の文化を鑑賞しながら、臨書します。</li> <li>・書道Ⅰでの学習を基に、作品への理解をより深めていきます。</li> <li>・古典作品のそれぞれの特徴をとらえ、臨書します。</li> </ul>
2 学期	3 草書 4 隷書・篆刻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・字の崩し方の原理を学習し、流動する用筆美を味わいます。</li> <li>・古典作品のそれぞれの特徴をとらえて、臨書します。</li> <li>・書体の特徴を理解し、字形や用筆法を学習します。</li> <li>・いろいろな古典作品を鑑賞しながら、臨書します。</li> </ul>
3 学期	5 仮名 6 創作(仮名) 7 創作(漢字)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の特徴をとらえて、流動する仮名独特の用筆美を味わいます。</li> <li>・短歌や俳句などを、古典から集字しながら創作します。</li> <li>・今までに学習した臨書作品を基に、創作します。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	書の表現方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技術を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美しさを感じ深くとらえたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
評価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨書への取り組み</li> <li>・作品</li> <li>・小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応用力</li> <li>・感想文</li> <li>・作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の観察</li> </ul>

(備考) 書道の道具類は、丁寧に扱い、後片付けもしっかり行ってください。

## 令和6年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書	BLUE MARBLE English Communication II (数研出版)		
副教材等	英単語ターゲット1200(旺文社)				

学習の目標	1 英語を理解し英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を養います。 2 教科書等の英語を読んだり聞いたりしたことに対する自分の感想や意見を、適切な英文で表現できる理解力と表現力を習得します。 3 基本的な構文や文法、語彙を習得します。CEFRのA2以上の取得を目標とします。
学習の方法	・授業は、本文をノートに写し、教科書に出てくる新出単語の意味を調べてノートに書いておくことが前提になります。辞書を使いながら、できる限り本文を日本語に直してみよう。授業中の言語活動に参加できるように、家での準備を自分の力で必ずやる習慣をつけよう。 ・自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書を利用して、自分で調べてみるようにしよう。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	Lesson 6 An Irish Poet on a Mission  Lesson 7 Be Free from Gender Bias	<ul style="list-style-type: none"> <li>・翻訳を通して日本文学の美しさを世界に広めるアイルランド出身の詩人について学びます。</li> <li>・先行詞を含む関係副詞/複合関係詞について理解します。</li> <li>・身近にひそむ男性/女性への偏見と、それをなくそうとする取組について考えます。</li> <li>・比較の慣用表現について理解します。</li> </ul>
2 学期	Lesson 8 The Diminutive Giant Who Fought for Refugees  Lesson 9 Tackling Global Warming	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難民保護に尽力した「小さな巨人」、緒方貞子の信念について学びます。</li> <li>・仮定法現在について理解します。</li> <li>・地球温暖化の新しい対応策、ジオエンジニアリングの利点・欠点を考えます。</li> <li>・名詞＋句、名詞＋節、can/could/will/ wouldの仮定的な意味について理解します。</li> </ul>
3 学期	Lesson 10 Keys to Finding Happiness	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「幸せ」を自分で切り開く方法を科学的な視点で考えます。</li> <li>・比較、省略、部分否定について理解します。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価 方 法	定期考査、パフォーマンステスト、小テスト	定期考査、パフォーマンステスト、レポート課題	言語活動への参加状況、パフォーマンステスト

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 令和6年度 シラバス

教科	家庭	科目	家庭総合	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	2	教科書	高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる（第一学習社）		
副教材等	家庭科ノート・調理実習ノート基礎編（愛媛県家庭科教育研究会）				

学習の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育てることを目標とします。
学習の方法	家庭科ノート、調理実習ノート、資料等を用いて授業を行います。実験・実習を活用し、実際の生活で実践できるように、生活との関わりを意識しながら進めていきます。講義や実習・グループ活動等意欲的に取り組み、授業内容を参考にしながら、生活の中での問題点を発見し、自分で解決できる能力を身に付けていきましょう。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	5章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活を取り巻く課題、食の安全と衛生、日本と世界の食文化など、食と人のかかわりについて理解します。</li> <li>・ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解します。</li> <li>・食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解し、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現できるようにします。</li> <li>・目的に応じた調理に必要な技能を身に付けることができますようにします。</li> </ul>
2 学期	2章 次世代をはぐくむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解します。</li> <li>・乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けることができますようにします。</li> <li>・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見だし、考察したことを論理的に表現できるようにします。</li> </ul>
3 学期	7章 住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解します。</li> <li>・住居の機能や快適性、住居と地域社会との関りについて問題点を見だし、考察したことを論理的に表現できるようにします。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的に理解しているとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
評価 方 法	単元テスト、定期考査、小テスト、ノート、ワークシート、発表、実習	単元テスト、定期考査、ノート、ワークシート、課題、発表、実習	ノート、行動観察、課題、出席状況、発表、実習

（備考） 1 1、2学期の定期考査は、期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。

## 令和6年度 シラバス

教科	商 業	科 目	課題研究	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書			
副教材等					

学習の目標	1 自らの課題の設定、学習計画の立案・研究を行い、実践することにより、計画力、実践力、問題解決能力を身に付けます。 2 日商簿記検定2級の合格を目標に、自主的・計画的に学習を進めます。
学習の方法	日商簿記検定2級の取得を目指し、講義をもとに、基本的な内容から応用的な内容まで幅広く学習を進め、多くの問題を解きながら理解力を深めていきます。

学 期	単 元	学 習 活 動 と ね ら い
1 学 期	1 商業簿記 重要仕訳問題 2 商業簿記 個別論点問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次までに学習した簿記・会計の知識をもとに、日商簿記検定で必要とされる力の定着を図ります。また、苦手部分の克服に力を入れ、得点力向上につなげていきます。</li> <li>・固定資産、有価証券、商品売買、預金調整、株主資本などの個別的論点について重点的に学習を進め、より理解を深め、応用的な出題に対応できる力を身に付けていきます。</li> </ul>
2 学 期	3 商業簿記 決算問題 4 工業簿記 演習問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精算表の作成、貸借対照表の作成、損益計算書の作成が正確にできる力を身に付けます。そのためには、簿記の一連の流れを正確に理解した総合的な力を身に付けます。</li> <li>・個別原価計算、総合原価計算、標準原価計算、直接原価計算、本社・工場の取引、製造原価報告書などについて、2年次の原価計算の学習を基礎として、演習を繰り返すことによって、検定に対応できる力を身に付けます。</li> </ul>
3 学 期	5 模擬問題・過去問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定試験の直前準備として、問題演習を繰り返し、検定試験に備えます。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
評価 方 法	・課題、小テスト、グループ研究、グループ討議、学習プリント	・課題、小テスト、グループ研究、グループ討議、学習プリント	・課題、小テスト、グループ研究、グループ討議、行動の観察、学習プリント

## 令和6年度 シラバス

教科	商 業	科目	課題研究	学年 学科 類型	3年 商業科 I 型
単位数	3	教科書			
副教材等					

学習の目標	<p>1 ビジネスに関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的創造的な学習態度を身に付けます。</p> <p>2 秘書検定およびリテールマーケティング検定の合格を目指して主体的に学習に取り組み、知識や技能、接遇マナーなどを身に付けます。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の講義形式ではなく、自らが主体となって学習に取り組み、課題を見つけ、自発的に解決していきながら学習します。</li> <li>・ビジネスに関する知識や技能を基礎的な内容から応用的な内容へと段階的に学習し、秘書検定2級、リテールマーケティング検定3級の合格に挑戦します。</li> <li>・練習問題を数多く解き、理論や実技の知識を身に付け、また実社会を創造したり、実践して理解を深めていきます。</li> </ul>

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	1 ガイダンス・年間計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標や内容、取組姿勢など正しく理解し、問題解決の能力や自発的・創造的な学習態度を身に付けます。</li> <li>・秘書の資質、職務知識・一般知識、マナー・接遇、技能について学習し、職務の知識や技術の習得とともに、秘書検定試験合格を目指して主体的に学習します。</li> </ul>
	2 秘書検定基礎演習	
2 学期	3 調査・研究演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎演習で得た知識や技術をもとにして、自らの研究テーマと研究計画を設定し、ビジネスに関する現状や課題を調査・研究して報告書の作成や発表準備を行います。</li> <li>・小売業の類型、マーチャンダイジング、ストアオペレーション、マーケティング、販売経営管理について学習し、販売技術や消費者動向を読み取る能力などビジネスに必要な知識や能力を身に付けるとともに、リテールマーケティング検定試験合格を目指して主体的に学習します。</li> </ul>
	4 リテールマーケティング検定基礎演習	
3 学期	5 成果報告およびまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究成果を発表することにより、思考力や表現力、プレゼンテーション能力を養い、他の研究報告からビジネスに関する知識や技術を深めていきます。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
評価 方 法	・課題、実習レポート、検定試験、ポートフォリオ評価	・課題、実習レポート、小テスト、発表、ポートフォリオ評価	・行動の観察、実習レポート、発表、ポートフォリオ評価

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 令和6年度 シラバス

教科	商業	科目	課題研究	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書			
副教材等					

学習の目標	1 マルチメディアを活用してビジネス情報を創造的に表現し、わかりやすく、説得力のある文書を作成するための知識と技術を身に付けます。 2 ソフトウェアを活用したプレゼンテーションなどにより、ビジネスにおける総合的な情報発信力を身に付けます。
学習の方法	・通常の講義形式ではなく、自らが主体となって学習に取り組み、課題を見つけ、自発的に解決していきながら学習します。 ・マルチメディアに関する知識や技能を基礎的な内容から応用的な内容へと段階的に学習し、ポスターのデザインや動画編集の作品を作成します。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	1 ガイダンス・年間計画 2 図形情報の作成と編集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標や内容、取組姿勢など正しく理解し、問題解決の能力や自発的・創造的な学習態度を身に付けます。</li> <li>・コンピュータグラフィックス・ソフトウェアに関する基礎的・基本的な操作方法を習得するとともに、視覚的なビジネス文書を作成するための技法を主体的に学習します。</li> </ul>
2 学期	3 マルチメディアの利用 4 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画データの種類や特徴について理解するとともに動画データの取得方法やこれを活用するための技法を主体的に学習します。</li> <li>・プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して、発表用の資料の整理や作成方法などの準備から発表までのプレゼンテーション技法を主体的に学習します。</li> </ul>
3 学期	5 成果報告およびまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究成果を発表することにより、思考力や表現力、プレゼンテーション能力を養い、他の研究報告からビジネスに関する知識や技術を深めていきます。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
評価 方 法	・課題、実習レポート、発表、作品、ポートフォリオ評価	・課題、実習レポート、発表、作品、ポートフォリオ評価	・行動の観察、実習レポート、発表、ポートフォリオ評価

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 令和6年度 シラバス

教科	商業	科目	課題研究	学年	学科	類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書					
副教材等							

学習の目標	1 コンピュータシステムやシステム開発・企業活動・関連法案に関する知識を身に付けます。 2 アルゴリズムを理解するためにプログラミング言語や流れ図や関連知識を深く学び、考えたり創造的に解決したりする力を養います。 3 現代のICTの発達に対応できるように、専門的な知識と技能を身に付けるために主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。
学習の方法	この授業では、ITパスポート試験の合格を目指して、関連知識の習得を行います。テーマがコンピュータ関係のみならず、会計やセキュリティや法律などまで及ぶので、ノートづくりや定着度確認の話し合いで、時期に応じて各分野ごとにきめ細かく勉強していきます。副教材や過去問題を活用し、学習の進み具合と苦手な分野の理解とを確認しつつ、資格試験の合格の可能性を高めていきます。毎日の授業に集中して取り組みましょう。

学期	単元	学習活動とねらい
1 学期	1 ストラテジ系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業活動や経営管理に関する基本的な考え方を学習します。</li> <li>・知的財産権にはどのような種類があり、何が法律で守られ、どのような行為が違法に当たるのかを理解します。</li> <li>・身近な労働関連法規の概要を理解します。</li> <li>・オフィスツール（ソフトウェアパッケージ）を身近な業務に適用します。</li> <li>・システム開発のプロセスの基本的な流れを理解します。</li> <li>・プロジェクトマネジメントのプロセスの基本的な流れを理解します。</li> <li>・ITサービスマネジメントの意義、目的、考え方を理解します。</li> <li>・企業などにおける内部統制、ITガバナンスの目的、考え方を理解します。</li> <li>・小テスト、発表、毎時の記録表、研究成果プリントを利用します。</li> </ul>
2 学期	2 テクノロジ系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基数の基本的な考え方を理解します。</li> <li>・確立と統計の基本的な考え方を理解します。</li> <li>・情報のデジタル化の基本的な考え方を理解します。</li> <li>・アルゴリズムと流れ図の基本的な考え方と表現方法を理解します。</li> <li>・プログラム言語とプログラミングの役割を理解します。</li> <li>・コンピュータの基本的な構成と役割を理解します。</li> <li>・オペレーティングシステムの必要性、機能性、種類を理解します。</li> <li>・ファイル管理の考え方を理解し、基本的な機能を利用します。</li> <li>・コンピュータの種類と特徴を理解します。</li> <li>・ヒューマンインタフェースの特徴を理解します。</li> <li>・マルチメディア技術の応用目的や特徴を理解します。</li> <li>・小テスト、発表、毎時の記録表、研究成果プリントを利用します。</li> </ul>
3 学期	4 総合問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の問題を活用し、問題を解いていきます。</li> <li>・小テスト、発表、毎時の記録表、研究成果プリントを利用します。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	コンピュータシステムやシステム開発・企業活動・関連法案に関する知識を身に付けている。	アルゴリズムを理解するためにプログラミング言語や流れ図や関連知識を深く学び、考えたり創造的に解決しようとしている。	現代のICTの発達に対応できるように、専門的な知識と技能を身に付けるために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	課題プリント、小テスト、実習、パフォーマンス評価	行動の観察、課題プリント、小テスト、パフォーマンス評価	行動の観察、実習、課題プリント

- (備考) 1 1, 2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 令和6年度 シラバス

教科	商 業	科目	課題研究	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書			
副教材等					

学習の目標	1 地元「宇和島市」の文化や歴史、観光などについて、各班別にテーマを設定して調査・研究を行います。また、各種イベントへの参加、各種コンテストへの応募を通して地域に貢献できる活動を行います。 2 問題を解決しようとする意欲を高め、自信を持って社会生活を営めるように「生きる力」を養います。
学習の方法	・扱う問題毎にテーマを設定して、問題の種類ごとに調査・研究を進めます。 ・マルチメディアを利用して表計算ソフト、文書作成ソフト、プレゼンテーションソフトによる資料作成やインターネットを利用して大学や企業のビジネス手法の調査研究を行います。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	宇和島市についての調査研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇和島地域の歴史・文化・観光について、各班で課題を設定して、調査研究を行います。</li> <li>・地域経済分析システム (RESAS) を活用した施策の立案・実行・検証を行います。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、研究成果プリント</li> <li>・実地調査や企業訪問の実施を行うことで、地域の課題を追究していきます。</li> <li>・行動の観察、課題プリント、作品制作、発表</li> </ul>
2 学期	宇和島市についての調査研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種コンテストへの応募を行います。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、作品制作</li> <li>・各種コンテストへの応募を行います。</li> <li>・行動の観察、課題プリント、作品制作、発表、ルーブリック評価</li> </ul>
3 学期	宇和島市についての調査研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2学期に実践した内容をまとめ、成果報告会の原稿を作成します。また、報告会を実施することで、宇和島地域の良さを再確認します。</li> <li>・行動の観察、課題プリント、作品制作、発表、ルーブリック評価</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	宇和島市について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	宇和島市に関する課題を発見し、宇和島市の地域貢献に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、宇和島市の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
評価 方 法	・課題プリント、調査・研究レポート、発表	・発表、作品、ルーブリック評価	・行動の観察、実習レポート、発表、ルーブリック評価

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 令和6年度 シラバス

教科	商 業	科目	総合実践	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書	令和6年度総合実践の手引き(宇和島東高等学校総合実践研究委員会編)		
副教材等					

学習の目標	1 商業の各分野に関する知識と技術を実践的な活動を通して総合的に習得し、ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行う態度を身に付けます。 2 知識や技術の体得のみならず、ビジネスマナーや職務に対する責任感・自主性・協調性・計画性などの資質を身に付けるとともに、職業人としての望ましい勤労観や職業観を養います。
学習の方法	・前半は同時同業法により、一人で1店舗を担当し、模擬取引演習(販売促進、売買取引、会計処理など)を行います。 ・後半は五人で1店舗を担当し、自由取引による模擬取引演習やMESEを用いた経営管理と経済シミュレーション演習を行います。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学 期	第1章 総合実践の学習	・総合実践における学習の目標や心得などを正しく理解するとともに、望ましい勤労観や基本的なビジネスマナーなどについて学習します。  ・一連の売買取引において5伝票制を用いて、起票・集計・転記など伝票会計の基礎的・基本的な知識と技術を学習します。  ・関係する機関との手続や作成する書式の内容や役割を理解し、個々の業務が、企業経営全体にどのように結びついているかを考えながら学習します。
	第2章 ビジネスマナー	
	第3章 ビジネス文書の作成	
	第4章 伝票会計記帳練習	
	第5章 模擬取引(基本編)	
2 学 期	第5章 模擬取引(基本編)	・関係する機関との手続や作成する書式の内容や役割を理解し、個々の業務が、企業経営全体にどのように結びついているかを考えながら学習します。  ・自ら考え、実行し、自らの力で問題の解決を図りながら、ビジネスの諸活動を合理的・能率的に処理する能力と態度を養います。  ・財務諸表の作成手順や方法を正しく理解するとともに、計数を分析して、経営活動を正しく点検・評価する知識と態度を養います。
	第6章 模擬取引 (実践編－自由取引－)	
	第7章 期末業務(決算)	
3 学 期	第8章 経営管理と経済のシミュレーション演習(MESE)	・企業経営を通じて、自律的判断力(考える力)、意思決定力、寛容性、コスト意識など、社会生活に必要な基本的資質を養います。  ・話し合いや数値決定の際における、リーダーシップ・協調性・協力的な態度等、チームとしての活動の様子を、総合的に評価します。

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	企業における実際の業務活動と関連づけて、ビジネスの様々な場面で役立つ業務に関する知識と技術を身に付けている。	総合実践に関する情報の分野に関する課題を発見し、それを踏まえて科学的な根拠に基づいて取引先についての理解、市場の動向、記帳に関する処理などを適切な判断に基づいて工夫しながら課題を解決している。	総合実践について学ぶ態度及び組織の一員としての自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者との信頼関係を構築して積極的に関わり、現地市場と相手市場の情報分析や販売計画など、責任を持って取り組んでいる。
評価 方 法	行動の観察、発表、諸帳簿の記録、営業日誌、パフォーマンス評価、定期考査	行動の観察、発表、諸帳簿の記録、小テスト、営業日誌、パフォーマンス評価、定期考査	行動の観察、発表、諸帳簿の記録、小テスト、模擬問題、営業日誌、定期考査

- (備考) 1 1, 2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 令和6年度 シラバス

教科	商業	科目	商品開発と流通	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書	商品開発と流通（実教出版）		
副教材等	商品開発と流通問題集（実教出版）				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 商品開発と流通について実務に即して体系的・系統別に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。</li> <li>2 商品開発と流通に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を学びます。</li> <li>3 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、商品開発と流通に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けます。</li> </ol>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発と流通に必要な基礎知識を具体的な事象や事例を通して学習します。</li> <li>・商品開発と流通に関する課題を発見します。また、実際の企業の事例なども利用し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。</li> </ul>

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	第1章 商品開発と流通の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の成り立ち及びその捉え方について理解します。</li> <li>・商品開発の意義、新商品の捉え方、商品ライフサイクルについて理解します。</li> <li>・商品開発の手順について理解し、学習の見通しをたてます。</li> <li>・流通の仕組みについて、事例を調査して考察します。</li> <li>・市場環境とマーケティングの変化、流通チャンネルの多様化について理解します。</li> <li>・商品の企画について必要な環境分析について、企業における事例と関連付けて理解します。</li> <li>・商品コンセプトの内容について理解するとともに、ブレインストーミングなどの技法を用いて、商品企画につながるアイデアを考えます。</li> </ul>
	第2章 商品の企画	
2 学期	第3章 事業計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発と流通における事業計画について、その目的や手順について理解します。</li> <li>・競争環境や需要予測等に基づいた、価格の設定の考え方を理解します。</li> <li>・流通チャンネルの種類と特徴について理解します。</li> <li>・商品仕様と詳細設計について、企業における事例と関連付けて理解します。</li> <li>・パッケージに必要な機能、要素等について考察し、パッケージ デザインを行います。</li> </ul>
	第4章 商品の開発	
3 学期	第5章 商品の販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売員活動について、プロセス、役割等を理解します。</li> <li>・セールスプロモーションについて理解し、企業における具体的な事例と関連付けて分類します。</li> <li>・顧客のニーズの多様化から、デザイン思考について企業における具体的な事例と関連付けて理解します。</li> <li>・流通の新たな展開として情報システムの変化が流通に影響を及ぼしていることを理解します。</li> </ul>
	第6章 商品と流通に関わる新たな展開	

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解し、商品の企画からプロモーションまでの様々な場面で役に立つ商品開発に関する知識と、流通の立場から捉えた取引対象としての商品に関する知識を身に付けている。	商品開発と流通をはじめとした様々な知識や情報などを活用し、商品開発と流通の動向や課題を発見するとともに、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当と課題の視点から、科学的な根拠に基づいて商品開発と流通に関する計画を立案したり提案している。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら商品開発と流通について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、商品開発と流通に関する学習活動に責任をもって取り組んでいる。
評価方法	課題プリント、ノート、小テスト、確認テスト、ワークシート、定期考査	課題プリント、ノート、小テスト、確認テスト、ワークシート、定期考査	課題プリント、ノート、小テスト、ワークシート、模擬問題

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 令和6年度 シラバス

教科	商業	科目	観光ビジネス	学年 学科 類型	3年 商業科 I 型 選択
単位数	3	教科書	観光ビジネス (実教出版)		
副教材等	観光ビジネス準拠問題集 (実教出版)				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 観光ビジネスについて実務に即して体系的、系統的に理解して、関連する技術を身に付ける学習をします。</li> <li>2 観光ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する知識を習得します。</li> <li>3 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、観光ビジネスに主体的にかつ協働的に取り組む姿勢を養います。</li> </ol>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業における事例など実際の観光ビジネスと関連付けて、ビジネスの様々な場面で役に立つ観光ビジネスに関する知識と技術を学習します。</li> <li>・課題を発見して、観光ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善が必要な事例など科学的な根拠に基づいて解決する力を学習します。</li> <li>・観光ビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として、自己の役割を認識して他者と信頼関係を構築して積極的にに関わり、観光の振興策の考案と実施などに責任を持って取り組む態度を養います。</li> </ul>

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	第1章 観光ビジネスの概要 第2章 観光ビジネスの主な産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光とビジネスとの関係や観光ビジネスの概要について学びます。</li> <li>・観光ビジネスの意義と課題について、日本における経済の発展と関連付けて学びます。</li> <li>・観光ビジネスについて自らの考えを持ち、主体的に他者と協働する力を身に付けます。</li> <li>・観光ビジネスの産業について、役割や業務などの概要や関連する法規の概要について理解します。</li> </ul>
2 学期	第3章 観光ビジネスのマーケティング 第4章 観光資源の発見と活用 第5章 地方自治体の観光政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ビジネスのマーケティングについて企業における事例と関連付けて学びます。</li> <li>・観光ビジネスのマーケティングに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて計画を立案・実行し、評価・改善することについて学びます。</li> <li>・観光ビジネスのマーケティングについて自ら学び、経済や消費者の動向などから主体的に他者と協働する力を身に付けます。</li> <li>・観光資源と観光政策について、企業における事例と関連付けて学びます。</li> <li>・観光資源の活用に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて計画を立案・実行し、評価・改善することについて学びます。</li> <li>・観光資源と観光政策について自ら学び、経済や消費者の動向などから、観光資源の効果的な活用について主体的に他者と協働する力を身に付けます。</li> </ul>
3 学期	第5章 観光ビジネスと観光まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光による地域の活性化について企業における事例と関連付けて学びます。</li> <li>・観光による地域の活性化に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて計画を立案・実行し、評価・改善することについて学びます。</li> <li>・観光による地域の活性化について自ら学び、観光ビジネスについて主体的に他者と協働する力を身に付けます。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	企業における事例など実際の観光ビジネスと関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ観光ビジネスに関する知識と技術を身に付けている。	観光ビジネスをはじめとした様々な知識、技術などを活用し、観光ビジネスに関する課題を発見して、顧客についての理解、市場の動向、観光ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善が必要な事例など科学的な根拠に基づいて解決することについて考えている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指し、観光ビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員としての役割を認識して、観光資源の効果的な活用、マーケティング、観光の振興策の考案と実施などに責任を持って取り組んでいる。
評価 方 法	定期考査、小テスト、課題プリント	定期考査、小テスト、課題プリント、ポートフォリオ評価	行動の観察、課題プリント、ノート、小テスト、調査発表

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 令和6年度 シラバス

教科	商業	科目	グローバル経済	学年 学科 類型	3年 商業科 I 型
単位数	3	教科書	グローバル経済(実教出版)		
副教材等	グローバル経済問題集				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経済のグローバル化について実務に即して体系的・系統的に理解するように学習します。</li> <li>2 経済のグローバル化への対応に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。</li> <li>3 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、グローバル化する経済社会におけるビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。</li> </ol>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済のグローバル化について実務に即して体系的・系統的に理解するように学習します。</li> <li>・経済のグローバル化への対応に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。</li> </ul>

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	第1章 グローバル化が進展する社会  第2章 経営のグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化と国際化の違いについて理解し、グローバル化する現代の社会について学びます。</li> <li>・グローバル経営を進めるにあたって求められる企業の社会責任について学びます。</li> <li>・多国籍企業のグローバル経営について理解し、企業がグローバル化する理由について学びます。</li> <li>・金融、企業、社会の多様性とグローバル化の関連について、具体的に見ていきます。</li> <li>・グローバル化によってどのような経済発展に結びつくのかを学びます。</li> </ul>
2 学期	第3章 経済のグローバル化  第4章 市場と経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化と国際化の違いについて理解し、グローバル化する現代の社会について学びます。</li> <li>・グローバル経営を進めるにあたって求められる企業の社会責任について学びます。</li> <li>・多国籍企業のグローバル経営について理解し、企業がグローバル化する理由について学びます。</li> <li>・金融、企業、社会の多様性とグローバル化の関連について、具体的に見ていきます。</li> <li>・グローバル化によってどのような経済発展に結びつくのかを学びます。</li> <li>・経済のグローバル化における人材の状況を外国人労働者や賃金の観点を含めて学びます。</li> <li>・自由貿易と国際分業の観点をもとに、経済のグローバル化における財のやり取りに関して、二国間の協定や地域経済の意義を学びます。</li> </ul>
3 学期	第4章 市場と経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要と供給に着目した市場に関する理論について理解し、現実の社会における市場の役割と課題について学びます。</li> <li>・GDPについて理解し、マクロ的な視点から経済成長について学びます。</li> <li>・景気環境のしくみについて理解し、その弊害について考察し学びます。</li> <li>・経済政策における政府の役割について学び、現状と問題点について理解します。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	企業における経済のグローバル化への対応など実務に関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ経済に関する知識を身に付けている。	経済のグローバル化をはじめとした様々な知識などを活用し、企業における経済のグローバル化への対応に関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響をふまえ、経済社会の動向、経済に関する倫理やデータ、ビジネスに関する成功事例や改善する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら経済について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者の信頼関係を構築して積極的に関わり、経済社会の動向を踏まえて経済のグローバル化に対応板ビジネスの展開に責任をもって取り組んでいる。
評 価 方 法	課題プリント、ノート、小テスト、確認テスト、ワークシート、定期考査	課題プリント、ノート、小テスト、確認テスト、ワークシート、定期考査	課題プリント、ノート、小テスト、ワークシート、模擬問題

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 令和6年度 シラバス

教科	商 業	科目	ビジネス法規	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書	ビジネス法規（実教出版）		
副教材等	ビジネス法規問題集（実教出版）				

学習の目標	1 ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的な知識を習得し、経済社会における法の意義や役割について理解できるようにします。 2 法的側面からビジネスに関する課題を発見するとともに、よりよい解決に向けて法的に考え、判断する能力と態度を身に付けます。
学習の方法	・法律用語がたくさん出てきますが、ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的な用語を確認してください。 ・教科書や問題集の事例をもとに法規を具体的な経済事象と照らしながら理解を深め、法的な思考や判断を行います。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	第1章 法の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスを適切に行うための法の役割について理解し、経済環境の変化に伴って法規の改正など行われている現状について学習します。</li> <li>・法律関係が権利・義務の関係で成り立っていること、物権や債権など財産権の概要について、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析・考察を行います。</li> <li>・財産権の変動や権利の発生・変更・消滅はほとんどが契約によって行われていることを理解し、契約の具体的な内容について学習します。</li> </ul>
	第2章 権利・義務と財産	
	第3章 財産権の変動	
2 学期	第4章 企業活動と法規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社の特徴、資金調達、金融取引など、企業活動の主体とその行為について学習します。</li> <li>・法令遵守と説明責任の意義、労働者の権利の保護、消費者の保護、情報の保護について、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて学習します。</li> <li>・公証制度、和解、調停及び仲介の目的、手続、効力、民事訴訟制度等、紛争の解決方法などについて理解を深めます。</li> </ul>
	第5章 企業責任と法規	
	第6章 紛争の解決と予防	
3 学期	第7章 税と法規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税の意義や種類、申告や納付のしくみなどについて学習します。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解している。	法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠にもとづいて創造的に解決しようとしている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。
評価 方 法	定期考査、小テスト、課題プリント	定期考査、小テスト、課題プリント、ポートフォリオ評価	行動の観察、パフォーマンス評価、課題プリント

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 令和6年度 シラバス

教科	商業	科目	財務会計Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科Ⅰ型 選択
単位数	3	教科書	財務会計Ⅱ（東京法令出版）		
副教材等	財務会計Ⅱ問題集（ネットスクール出版）				

学習の目標	1 財務会計Ⅰで学習した内容を発展させ、企業会計に関する法規と基準及び会計処理を踏まえて、会計的側面から企業及び企業の経営判断を分析する力を養います。 2 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、課題を見だし、会計情報の提供と活用に必要な資質や能力を身につける態度を養います。
学習の方法	・この科目は財務会計Ⅰの内容を修得していることを前提としています。企業会計に関する法規と基準及び特殊な会計処理を学習します。具体的な財務諸表等を用いて、多面的・多角的に分析し、考察や発表を行います。 ・全商財務諸表分析検定合格を目指し、問題を解きながら理解力を深めていきます。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	第Ⅰ編 財務会計の基本概念と会計基準 第1章 財務諸表の作成と表示の考え方 第2章 資産負債アプローチと収益費用アプローチ 第3章 会計基準の国際的統合 第Ⅱ編 会計処理 第1章 時間価値 第2章 金融商品・外貨建取引 第3章 有形固定資産 第4章 無形固定資産 第5章 繰延資産 第6章 固定負債 第7章 純資産	・財務会計の基本概念とは何か。わが国の会計基準にはどのような特徴がありどのように国際化に対応してきているかを学習します。  ・貸借対照表に関する各種の会計処理を行うために、さらに進んだ内容について学習します。（資産会計、負債会計、純資産会計）
	第8章 収益と費用 第9章 税効果会計 第Ⅲ編 キャッシュ・フローに関する財務諸表 第1章 キャッシュ・フロー計算書 第Ⅳ編 企業集団の会計 第1章 企業結合会計 第2章 連結財務諸表の作成 第3章 持分法 第Ⅴ編 財務諸表分析 第1章 企業価値の評価 第2章 株価を用いた財務諸表分析 第3章 連結財務諸表分析	・貸借対照表に関する各種の会計処理を行うために、さらに進んだ内容について学習します。（損益会計、税効果会計） ・適切な資金繰りを行うために必要な財務諸表のうちのキャッシュ・フロー計算書に関する内容を学習します。  ・企業結合とは何か。また、支配獲得日後に子会社株式を追加で取得した場合などにはどのような処理が行われるかを学習します。  ・企業グループの現状把握や企業価値の評価など、財務諸表の活用法について学習します。
3 学期	第Ⅵ編 監査と職業会計人 第1章 会計責任と監査の概要 第2章 職業会計人の倫理	・財務諸表の信頼性を高めるための監査についてのしくみや手続き、職業会計人の職務や社会的役割について学習します。

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業及び企業の経営判断を分析することができる。	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、国際的な会計基準を踏まえた適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
評価方法	定期考査、小テスト、課題プリント	定期考査、小テスト、課題プリント、ポートフォリオ評価	行動の観察、パフォーマンス評価、課題プリント

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 令和6年度 シラバス

教科	商業	科目	ネットワーク活用	学年	学科	類型	3年 情報ビジネス科 I型
単位数	3	教科書	ネットワーク活用（実教出版）				
副教材等							

学習の目標	1 ビジネスにおけるインターネットの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにします。 2 ビジネスにおいてインターネットを活用することに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。 3 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。
学習の方法	この授業では、情報ビジネス科で2年間学んだ知識をもとに、インターネットや情報セキュリティについて深く学びます。また、電子商取引の概要やWebページの制作についての実習も行うことで、より実践的な活動も行います。定期考査だけでなく毎日の授業にも集中して取り組みましょう。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	1章 情報通信技術の進歩とビジネス 1節 ICTにより創造される新しいビジネス 2節 個人情報と知的財産の保護 3節 関連法規とガイドライン 2章 情報コンテンツの制作 1節 図形と静止画 2節 音声と動画 3章 企業情報の発信とWebデザイン 1節 Webページの制作とデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信技術の進歩に伴いビジネスの形態や組織内におけるビジネスの進め方が変化していることを学び、情報通信ネットワークをビジネスに活用することの重要性を学びます。</li> <li>・図形と静止画の情報コンテンツについて、利用方法や表現方法などの基礎的な知識を理解するとともに、それらを作成・編集するための基本的な技術を学習します。</li> <li>・Webページの制作とデザインについて理解するとともに、一般的なWebページ制作手順を理解し、Webページ制作について必要な基本的な知識と技術を学習します。</li> </ul>
2 学期	3章 企業情報の発信とWebデザイン 2節 Webページ制作の基礎 3節 Webページ制作の応用 4章 インターネットと情報セキュリティ 1節 インターネットのしくみ 2節 ハードウェアとソフトウェアの導入 3節 情報セキュリティの確保 5章 電子商取引とビジネス 1節 ネットワークを用いたビジネスと電子決済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タグの直接入力による基本的なWebページ制作のための知識と技術を学習します。</li> <li>・CSSとJavaScriptを用いて、目的に応じた適切なWebページを制作する知識と技術を学びます。</li> <li>・インターネットの仕組み、ビジネスにおいてインターネットを活用する利点及びインターネットサービスプロバイダの役割と業務について学習します。</li> <li>・ビジネスにおいてインターネットを活用する際の情報セキュリティの確保について、企業における具体的な事例を学びます。</li> </ul>
3 学期	5章 電子商取引とビジネス 2節 電子商取引サイトの開店準備 3節 Webページ制作と集客方法 4節 ビジネスの創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子商取引の意義や役割について学びます。</li> <li>・企業間取引、企業対消費者間の商取引について学習し、情報通信ネットワークを活用したビジネスについて学習します。</li> <li>・代金決済方法について電子的データの交換を行う電子決済のしくみを学習します。</li> <li>・電子商取引サイト開業に必要な手順を理解させるとともに、店舗運営を行うための基礎的な知識を学習します。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	ビジネスにおけるインターネットの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	ビジネスにおいてインターネットを活用することに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価 方 法	課題プリント、小テスト、実習、パフォーマンス評価、定期考査	行動の観察、課題プリント、小テスト、パフォーマンス評価、定期考査	行動の観察、実習、課題プリント

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 令和6年度 シラバス

教科	家庭	科目	フードデザイン	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	2	教科書	フードデザイン（実教出版）		
副教材等	調理実習ノート専門編（愛媛県家庭科教育研究会）				

学習の目標	<p>1 食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を目指して自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。</p> <p>2 実習を通して、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を身に付けます。</p>
学習の方法	調理実習ノート、資料等を用いて授業を行います。栄養と調理の関連性を学び、実験・実習を活用し、実際の生活で実践できるように進めていきます。講義や実習・グループ活動等意欲的に取り組み、授業内容を参考にしながら、食生活における問題点を見出し、自分で解決できる能力を身に付けていきましょう。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	第1章 食生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の基本的な意義や現代の食に関する問題点を理解し、食事の大切さについて学びます。</li> <li>・食生活における環境保全、資源の有効活用について学び意識を高めます。</li> </ul>
	第2章 栄養素の働きと食事計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種栄養素の特徴を理解し、食事計画にあたって食品摂取量のめやすを利用できるように学習します。</li> </ul>
	第3章 食品の特徴・表示・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の特徴、調理上の性質、加工品について理解し、食事計画や調理に生かすことができるようにします。</li> </ul>
2 学期	第4章 調理の基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調味、計量、食品の切り方、調理法の基礎、調理器具について具体的な知識と技術を身に付けます。</li> </ul>
	第7章 食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育基本法や家庭、地域における食育推進活動について学習します。</li> </ul>
	第5章 料理様式とテーブルコーディネート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本料理、西洋料理、中国料理について、それぞれの特徴、手順、サービス、マナーについて学習します。また、和風、洋風、中国風ごとのテーブルコーディネートの特徴を知り、実際にコーディネートを実践します。</li> </ul>
3 学期	第6章 フードデザイン実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事のテーマに応じた献立作成、食品材料の選択と調理について計画し実践します。</li> <li>・行事食について学び、日本の伝統行事の継承や和風料理を伝承する能力を培います。</li> </ul>

### 評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価 方 法	小テスト、実技テスト ノート、ワークシート 発表	小テスト、実習、課題 ノート、ワークシート 発表	ノート、行動観察、実習 課題、出席状況、発表

- (備考) 1 1,2学期に実技テストを行う。  
2 実習教科のため実習を重視した評価を行う。